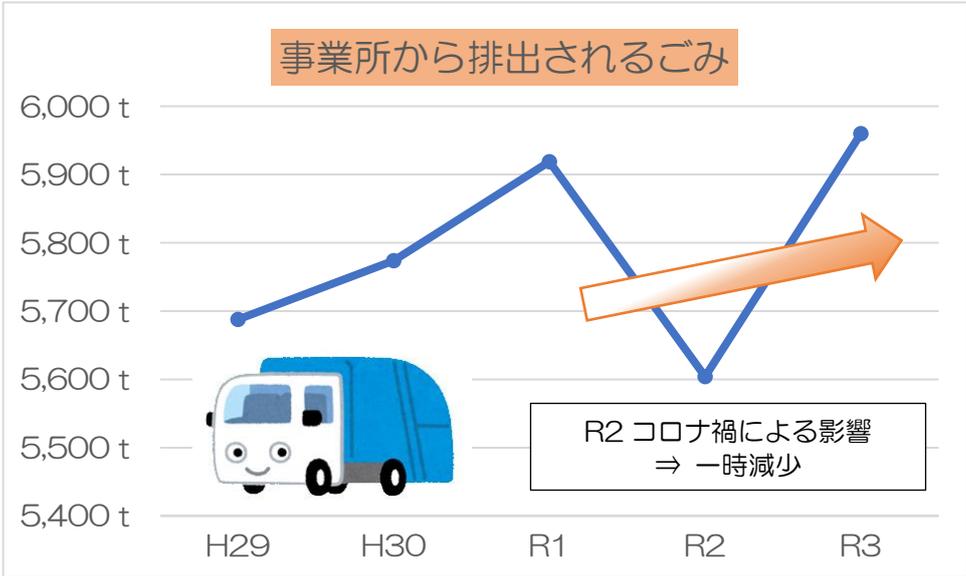


安達地方広域行政組合からのごみ処理に関するお願い

事業所(工場、飲食店、スーパーなど)から出されるごみが増えています！



スーパー・量販店



工場・作業場



商店・飲食店

もとみやクリーンセンターで処理できる事業系ごみとは

もとみやクリーンセンターで処理できる事業所から排出されたごみは、「燃やせるごみ(プラスチックを除く)」であり、一般家庭とは異なります。事業所から排出されるプラスチック類や金属類などは「**産業廃棄物**」に該当しますので、適切に処理をお願いします。なお、事業所からごみを出す場合には、**ごみステーションは利用できません。**

SDGs を職場から



ごみの資源化や減量化は、近年 SDGs の観点からも注目されています！

温室効果ガスを削減



ごみの減量化により焼却などで発生する「温室効果ガス」が削減できます！

裏面：ごみ減量のポイント

事業所からのごみ減量のポイント



きちんと分別する



事業所からのごみ排出量は、安達地方全体の20.7%（令和3年度）を占めています。

どのようなごみでも、袋に入れて出していいわけではなく、リサイクルできるごみは、しっかりと分別することが重要です。また、集められたごみは、適正に処理できる業者へ引き渡します。



紙類は可能な限りリサイクル



事業所から排出される紙類には、オフィスや商店、サービス業など業種や業態を問わず、OA紙や新聞、雑誌、段ボールなどのリサイクル可能な紙類が多く含まれています。

近年、デジタル化によるペーパーレス化が進むなど、紙の使用量は削減しやすい環境にあり、紙類の資源化は、他のごみと比べ、比較的簡単に取組むことができ、減量の効果が出やすいのが特徴です。

一般的にリサイクルには費用がかかることが多いですが、紙類は、質や量によるものの、古紙回収業者等に無償で引き取ってもらえたり、場合によっては買い取ってもらえることもあり、ごみ処理費用の削減につながります。



食品廃棄物を減らす



事業系の食品ロスの割合は、家庭系よりも高く、多くの食品が事業所からごみとして排出されています。事業所として仕入れの量などを適切に管理し、食品の無駄をなくすことが重要です。

また、飲食店等での食べ残し量を削減するためには、飲食店側の工夫や努力だけではなく、利用客と飲食店がお互いに協力して取り組むことで、効果のアップが期待されます。



二本松市・本宮市・大玉村
安達地方広域行政組合